

平成２７年度行政事業レビューシート（厚生労働省）										
事業名		保育対策総合支援事業費補助金			担当部局庁		雇用均等・児童家庭局		作成責任者	
事業開始年度		平成２７年度		事業終了 （予定）年度	終了予定なし		担当課室		保育課 朝川知昭	
会計区分		一般会計			政策・施策名		Ⅵ－２－３ 保育所の受入児童数を拡大するとともに、多様なニーズに対応できる保育サービスを確保すること			
根拠法令 （具体的な条項も記載）		－			関係する計画、通知等		「保育士修学資金の貸付について」の一部改正について （厚生労働事務次官通知 平27.4.13 厚生労働省発雇児0413第3号）等			
主要政策・施策		子ども・若者育成支援、少子化社会対策、男女共同参画			主要経費		社会保障			
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）		地域の実情に応じた多様な保育需要に対応するため、小規模保育等の設置による保育の受け皿の確保や保育を支える保育士の確保に必要な措置を講ずることで、待機児童の解消を図るとともに子どもを安心して育てることができる環境整備を行うことを目的とする。								
事業概要 （5行程度以内。別添可）		「待機児童解消加速化プラン」に基づく小規模保育等の改修等や「保育士確保プラン」に基づく保育士確保対策等の実施に必要な経費の一部を支援するための補助金事業。 詳しくは別添のとおり。								
実施方法		補助								
予算額・執行額 （単位：百万円）				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
		予算 の 状 況	当初予算	0	0	0	28,535	30,587		
			補正予算	－	－	－	－			
			前年度から繰越し	－	－	－	－			
			翌年度へ繰越し	－	－	－	－			
			予備費等	－	－	－	－			
		計	0	0	0	28,535	30,587			
		執行額		－	－	－				
		執行率（％）		－	－	－				
成果目標及び成果実績 （アウトカム）		定量的な成果目標		成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 29 年度
		平成29年度までに46.5% （平成26年度に成果指標の見直し）		1、2歳児への保育サービス提供割合	成果実績	％	－	－	－	
					目標値	％	－	－	－	46.5
					達成度	％	－	－	－	
活動指標及び活動実績 （アウトプット）		活動指標				単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
		【保育士修学資金貸付事業】 本事業により補助を受けた自治体数			活動実績	都道府県	－	－	－	
					当初見込み	都道府県	－	－	－	47
活動指標及び活動実績 （アウトプット）		活動指標				単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
		【保育士資格取得支援事業】 本事業により補助を受けた自治体数			活動実績	自治体	－	－	－	
					当初見込み	自治体	－	－	－	110
活動指標及び活動実績 （アウトプット）		活動指標				単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
		【保育士・保育所支援センター設置運営事業】 本事業により補助を受けた自治体数			活動実績	自治体	－	－	－	
					当初見込み	自治体	－	－	－	110
活動指標及び活動実績 （アウトプット）		活動指標				単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
		【保育士宿舍借り上げ支援事業】 本事業により補助を受けた自治体数			活動実績	自治体	－	－	－	
					当初見込み	自治体	－	－	－	1,741
活動指標及び活動実績 （アウトプット）		活動指標				単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
		【保育体制強化事業】 本事業により補助を受けた自治体数			活動実績	自治体	－	－	－	
					当初見込み	自治体	－	－	－	1,741

単位当たりコスト		算出根拠		<div>単位当たりコスト</div> 計算式	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
		【保育士修学資金貸付事業】 単位当たりコストX/Y X:当初見込み Y:当初予算額				-	-	-	41
					/	-	-	-	1,904/47
単位当たりコスト		算出根拠		<div>単位当たりコスト</div> 計算式	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
		【保育士資格取得支援事業】 単位当たりコストX/Y X:当初見込み Y:当初予算額				-	-	-	18.5
					/	-	-	-	2037/110
単位当たりコスト		算出根拠		<div>単位当たりコスト</div> 計算式	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
		【保育士・保育所支援センター設置運営事業】 単位当たりコストX/Y X:当初見込み Y:当初予算額				-	-	-	7
					/	-	-	-	744/110
単位当たりコスト		算出根拠		<div>単位当たりコスト</div> 計算式	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
		【保育士宿舍借り上げ支援事業】 単位当たりコストX/Y X:当初見込み Y:当初予算額				-	-	-	0.7
					/	-	-	-	1178/1741
単位当たりコスト		算出根拠		<div>単位当たりコスト</div> 計算式	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
		【保育体制強化事業】 単位当たりコストX/Y X:当初見込み Y:当初予算額				-	-	-	0.2
					/	-	-	-	393/1741
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目		27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	事業費補助金		28,535	30,587	「新しい日本のための優先課題推進枠」7,129百万円 新規事業及び保育士確保策の拡充による増(一部優先課題推進枠)				
	計		28,535	30,587					

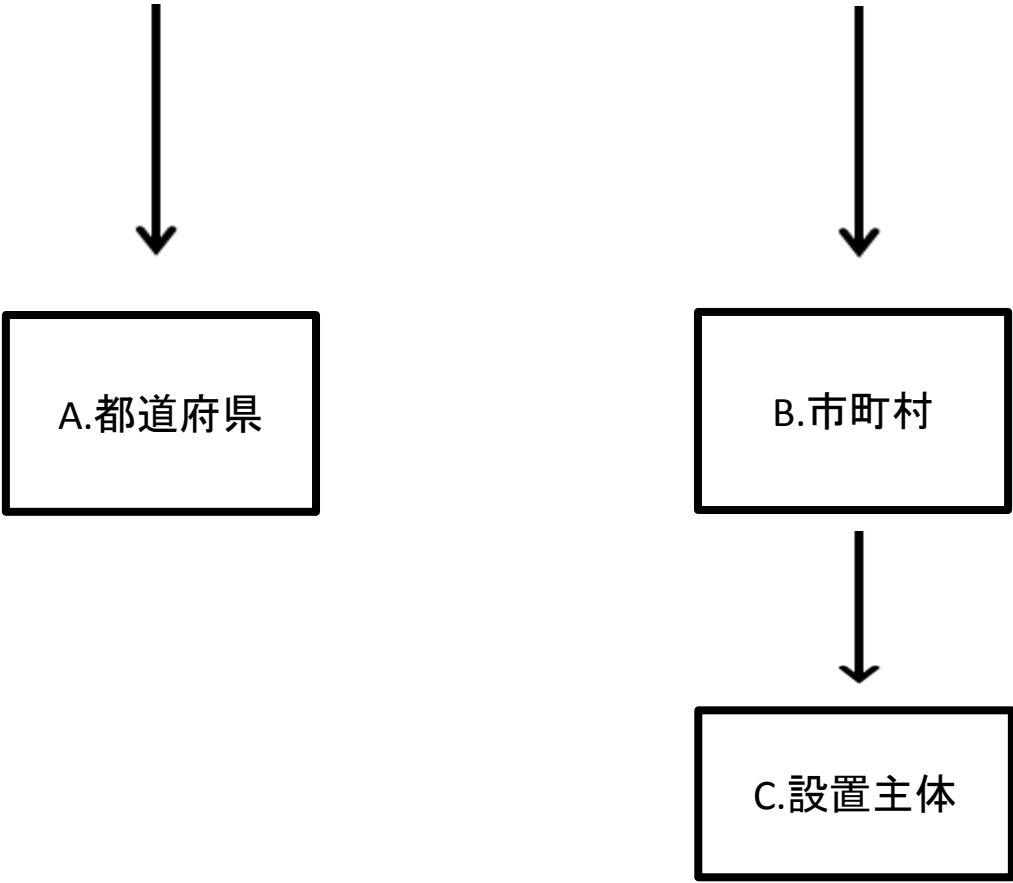
事業所管部局による点検・改善						
	項 目		評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	児童の福祉の向上を図ることを目的として、需要の増加する保育サービス提供施設を設置するための環境改善等に必要な経費を補助するものであり、ニーズを的確に反映している。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	児童の福祉の向上を図ることを目的として、需要の増加する保育サービス提供施設を設置するための環境改善等に必要な経費を補助するものであり、国が実施すべき事業である。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	児童の福祉の向上を図ることを目的として、需要の増加する保育サービス提供施設を設置するための環境改善等に必要な経費を補助するものであり、優先度の高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	－		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	都道府県・市区町村の負担割合が定められている。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	－		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	都道府県・市区町村の負担割合が定められている。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	児童の福祉の向上を図ることを目的として、需要の増加する保育サービス提供施設を設置するための環境改善等に必要な経費を補助するものであり、真に必要なものに限定されている。		
	不用率が大い場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-	－		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	－		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	待機児童加速化プランに基づく事業の実施に伴い、今後1, 2歳児への保育サービス提供割合は更に増加することが見込まれているところである。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	－		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	－		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	各市区町村の計画に基づくものであり、整備される施設等は十分に活用される見込みである。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		-	－		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
	－	－	－			
	－	－	－			
点検・改善結果	点検結果	すべての子どもの健やかな育ちを保障し、安心して子どもを産み、育てられる社会にするため、質の確保された保育サービスを充実させることが重要であることから、希望するすべての人が子どもを預けて働くことのできる社会の実現に向け取り組んでいくことが必要である。1, 2歳児への保育サービス提供割合は今後も増加していくことが予想されるため、潜在保育士の掘り起こしや保育所等の整備をさらに進めていく。				
	改善の方向性	今後も各種の事業費補助金を効果的に推進し、各自治体で着実に実施できるよう、引き続き支援していく。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	－					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	－	平成23年度	－	平成24年度	－	
平成25年度	－	平成26年度	－			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

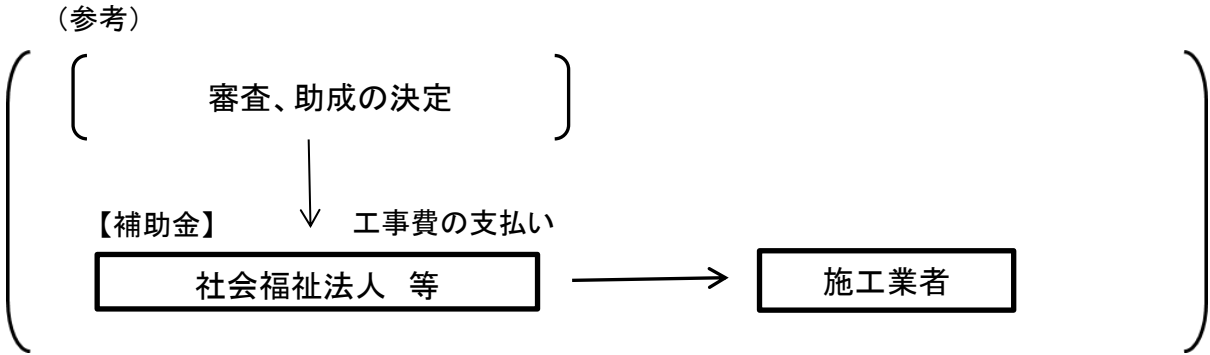
平成27年度予算見込み

厚生労働省 28,535百万円

(保育対策総合支援事業費補助金要綱に基づき都道府県及び指定都市・市町村等が行う事業に要する費用の一部を補助する)



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

事業名	事業内容
保育士修学資金貸付事業	保育士養成施設に在学し、保育士資格の取得を目指す学生に対し修学に要する費用の貸付を行う。
保育士資格取得支援事業	①認可外保育施設に勤務する保育従事者、幼稚園教諭免許状を有する者の保育士資格取得支援のため、保育士養成施設における受講料と受講に伴い必要となる代替職員の雇上に必要な費用の一部を補助する事業 ②保育所等に勤務する保育従事者の保育士資格取得のため、保育士養成施設における受講料の一部を補助する事業
保育士・保育所支援センター設置運営事業	潜在保育士への就職支援、保育所に勤務する保育士等への相談支援、保育所の潜在保育士活用支援等を実施する保育士・保育所支援センターの設置・運営に要する費用の一部を補助する。また、更なる保育士確保策の推進を図るため、福祉人材センター等との協力の下、離職した保育士に対して、再就職希望の状況を随時把握し、再就職に向けた定期的な研修案内・求人案内等を行うことで、きめ細かな支援を実施する。
保育士宿舍借り上げ支援事業	保育士用の宿舍を借り上げるために必要な費用の一部を支援することで、保育士の人材確保や離職防止を図る。
保育体制強化事業	保育士の負担軽減を図り、保育士の就業継続・離職防止や質の高い保育の提供に繋げるため、保育に係る周辺業務を担う保育支援者（地域住民や子育て経験者など）の配置に要する費用の一部を補助する。
保育士試験による資格取得支援事業	保育士確保対策の一つとして、保育士試験の合格を目指す者に対し、保育士試験受験のための学習に要した費用の一部を補助することで保育士資格取得者の拡充を図る。
保育士養成施設に対する就職促進支援事業	指定保育士養成施設が学生に対して保育所等への就職を促すための取組（リアリティ・ショックに対応するための特別講座の開講など）を実施した結果、保育所等への就職内定率が前年度の保育所等就職率（全国平均）を上回った割合に応じて、当該取組に要した費用の一部を助成する。
保育士試験追加実施支援事業	保育の量的拡大を支える保育士を確保するため、保育士試験を年間2回実施する都道府県に対して、2回目試験の準備に必要な費用を補助する。
賃貸物件による保育所改修費等支援事業	保育所を整備するにあたり、都市部を中心に保育所整備が困難な状況にかんがみ、賃貸物件による保育所を設置するために必要な改修費等の一部を補助することにより、子どもを安心して育てることが出来るような体制整備を行う。
小規模保育改修費等支援事業	都市部を中心に小規模保育事業の整備が困難な状況等にかんがみ、賃貸物件等による事業所を設置するために必要な改修費等の一部を補助することにより、小規模保育事業の実施を促進する。
認可化移行改修費等支援事業	認可保育所又は認定こども園への移行を希望する施設に対し、設備運営基準を満たすために必要な改修費等の一部を補助することにより、認可化への移行促進を図る。
家庭的保育改修費等支援事業	居宅や賃貸アパート並びに連携保育所において家庭的保育事業を実施するため、保育環境を整えるための建物の改修費等の一部を補助することにより、家庭的保育事業の実施を促進する。
幼稚園における長時間預かり保育改修費等支援事業	幼稚園における長時間預かり保育を促進するため、改修等に要する費用の一部を補助する。
認可化移行調査費等支援事業	認可外保育施設が認可保育所又は認定こども園へ円滑に移行することを支援するため、個々の施設において移行の障害となっている事由を調査・診断するとともに、移行のための計画書の作成・見直し及び移行までの助言指導を行うための費用の一部を補助する事業。
認可化移行移転費等支援事業	認可外保育施設が認可保育所又は認定こども園へ円滑に移行することを支援するため、現行の施設では立地場所や敷地面積の制約上、設備運営基準を満たすことができない場合の移転等に必要な費用の一部を補助する事業。
民有地マッチング事業	土地等所有者と保育所整備法人等のマッチングを行うため、地権者から整備候補地の公募・選考等を行うとともに、当該候補地での保育所等整備を希望する法人の公募・選考等を行うために必要な費用の一部を補助する事業。
広域的保育所等利用事業	近隣に入所可能な保育所等が見つからない児童に対し、自宅から遠距離にある保育所等でも通所を可能にするため、保護者にとって利便性のよい場所にある学校や児童館などに市町村が設置することも送迎センターを中心とし、原則、各保育所等の保育士等が付き添いのもと、送迎バス等により児童の送迎の実施に要する費用の一部を補助する事業。
家庭支援推進保育事業	日常生活における基本的な習慣や態度のかん養等について、家庭環境に対する配慮など、保育を行う上で特に配慮が必要とされる児童を多数（40％以上）受け入れている保育所に対して保育士の加配を行う。
認可外保育施設の衛生・安全対策事業	認可外保育施設に従事する職員に対する健康診断に必要な経費を一部助成することにより、利用児童の衛生及び安全を確保する。
保育環境改善等事業	保育所において、障害児を受け入れるために必要な改修等、病児・病後児保育（体調不良児対応型）を実施するために必要な設備の整備等に必要な経費の一部を助成する。